

5人の新星、ここに誕生



速報版
再刊 第400号
印刷・発行
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2022

みんなでつくる
錦城高校新聞

一面…生徒会選挙関係速報
各候補の立会演説の様子をお届け

生徒会総選挙が開催

11月2日(水)の6限目に生徒会総選挙が行われた。生徒会副会長は決選投票、それ以外は信任投票で決める形で行われ、5人の新生徒会役員が新たに決定した。今号では、第一体育館で行われた選挙の立会演説の様子と開票速報をお届けする。

役職	年組	氏名	得票数	結果	候補者	年組	得票数	結果
生徒会会長候補	2A	高梨 恭一	1225	信任	監査委員長候補	2G	加園 玲也	1200 信任
生徒会副会長候補	1A	栗田 紗雪	76		監査副委員長候補	1F	浦山 一花	1223 信任
	1C	高杉 咲良	333		錦城祭実行委員長候補	1C	田口 桜子	1247 信任
	1E	山田 拓仁	722	当選				
	1K	須郷 さくら	158					

有効票数：1289票 無効票数：68票

投じられた票は全て即日開票された

3年ぶりの立会演説会

11月2日(水)に第一体育館で行われた生徒会役員選挙の立会演説会。昨までは新型コロナウイルスの蔓延の影響で候補者の演説を放送した後に投票をしていたため、全校生徒が一堂に介して行われる立会演説会は3年ぶりの開催になる。



公約を生徒に伝える

今年度は副会長に4人の1年生が立候補し決選投票に、それ以外の役職は信任投票となった。立会演説会の初めには選挙管理委員長の丹羽絵梨香さん(2I)による投票する際の注意事項の説明があり、候補者の話をよく聞き、自分で考えて投票するように呼び掛けた。その後、立候補者が順番に演説を行い、各々の公約や目指す錦城高校の姿について話している間、生徒は集中して話を聞いていた。

生徒会長候補

高梨恭一さん(2A)
公約として「役員会の新設と一般中央委員の主体化」を掲げた生徒会長候補の高梨恭一さん(2A)は栗田さんについて



真剣に話を聞く錦城生

須郷さくらさん(1K)は、「アイスの種類増加、お菓子の自販機設置」を公約として掲げた。理由としておながやすいもお昼休みまで待たなければいけないため、授業を受ける際の効率が悪いという点を挙げた。錦城高校に入学して以来、須郷さんは中央委員会に所属し、その中で「スマホの使用許可」についてまだ実現性が低いと指摘したうえで、それも含めて校則を改正していきたいという。まずは、実現性のあるものから少しずつ改正したいです」と意気込んだ。

加園玲也さん(2G)
「特定の部活に肩入れせず、厳正な審査の下で部活動の予算を分配します」と話した加園玲也さん(2G)は、加園さんは生徒が快適な学校生活を送るためには我々生徒側がしっかりと校則を遵守していくことが大切だと何度も強く呼びかけた。

田さんにはできないものだと思います。ぜひ山田さんに託してみてください」とメッセージを送った。

委員会からお借りした実際に選挙で使われている投票箱を使っている投票となった。投票用紙に記入する前に、選挙管理委員から選挙を行う上での注意が伝えられた。生徒全員の意見を反映させるために、無効票はゼロにしたいという。

栗田副会長候補
栗田紗雪さん(1A)
目安箱の設置数増加と生徒会報の発行数増加を公約として掲げている栗田紗雪さん(1A)は、

高杉咲良さん(1C)
演説の冒頭で「皆さん錦城高校が変わってほしいものがありますか。新しく求めるものはありますか」と全校生徒に問いかけた高杉咲良さん(1C)は、

山田拓仁さん(1E)
最初に友人や学校へ感謝を述べた山田拓仁さん(1E)は、山田さんは校則改定について3つのポイントに基づいて実現していくと説明した。1つ目は生徒の意見を取り入れるための意見箱の増加、2つ目は仮校則の実施、3つ目は校則改定後の学校の治安を守るための校則の強化期間を設けることだそう。また、これからの錦城高校には現状の維持ではなく、新たな変革が必要だ」と強く語った。

浦山一花さん(1F)
浦山一花さん(1F)は、「1学期から一般委員として関わってき、今後もより深く、良い形で錦城高校に貢献していきたい」と思いから今回の立候補を決めました」と立候補の理由を語る。

田口桜子さん(1C)
錦城祭実行委員を務めていた生徒に「楽しかった」と言われたことがうれしかったと語る田口桜子さん(1C)は、

法律の改正により18歳以上が衆議院や参議院の選挙に投票できるようになった。実際に7月に行われた参議院選挙の時に、3年生の3クラスの中で選挙権を持っていた人は25パーセントで、その中で選挙へ行った人は93パーセントだった。

高杉さんには改革ではなく、新しいものを作っていく「ステップアップ」が大切だと訴える。自身の2つの公約について詳しく説明を行った。1つ目の自習室の充実化について、自習室にパソコンを設置することで自習する際にインターネットで取り入れ、活動内容を発信していきたいという。高杉さんは生徒の意見を取り入れることを強調し「皆さんの意見で周囲の環境を変えていきたいです」と語った。

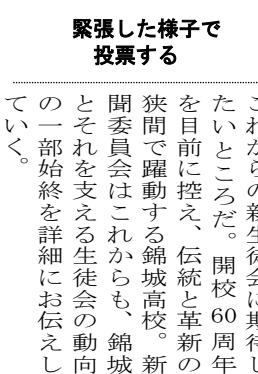
山田さんには校則改定について3つのポイントに基づいて実現していくと説明した。1つ目は生徒の意見を取り入れるための意見箱の増加、2つ目は仮校則の実施、3つ目は校則改定後の学校の治安を守るための校則の強化期間を設けることだそう。また、これからの錦城高校には現状の維持ではなく、新たな変革が必要だ」と強く語った。

浦山一花さん(1F)は、「1学期から一般委員として関わってき、今後もより深く、良い形で錦城高校に貢献していきたい」と思いから今回の立候補を決めました」と立候補の理由を語る。

田口桜子さん(1C)は、錦城祭実行委員を務めていた生徒に「楽しかった」と言われたことがうれしかったと語る田口桜子さん(1C)は、

法律の改正により18歳以上が衆議院や参議院の選挙に投票できるようになった。実際に7月に行われた参議院選挙の時に、3年生の3クラスの中で選挙権を持っていた人は25パーセントで、その中で選挙へ行った人は93パーセントだった。

錦城生の投票率はとても高い。この水準を維持するために学校内の生徒会選挙でも真面目に取り組む、社会全体の選挙にもこの経験を活かしていく。



緊張した様子で投票する

社会で活かせる経験を

今年の選挙も、小平市選挙

* * *